

第2回 九州大学－熊本大学技術交流会

志田 賢二

応用分析技術系

1 はじめに

平成26年度より開始した九州大学との技術交流会であるが、本年度は2月29日～3月1日の2日間において九州大学伊都キャンパスにて開催された。本学より10名の技術職員が参加して日頃の研究支援や組織について情報交換を行った。

2 概要

開催日程：平成28年2月29日～3月1日

開催場所：九州大学 伊都キャンパス（福岡市西区）

参加者：矢北、上村、倉田、吉永、志田、山口、上田、齋藤、平野、渡辺（10名）

プログラム：（別紙参照）

2.1 技術交流会

技術交流発表会では6件の発表があった。本学からは「熊本大学工学部技術部の改組案（矢北）」、「物理探査を主としたフィールド調査の紹介（吉永）」、「画像計測技術を援用したFEM解析メッシュ生成（上田）」の3件の発表を行った。九州大学では本年4月に組織化を控えていることから、本学技術部の職員構成、技術部運営、研究支援体制についての質問が挙がっていた。専門業務についてはフィールドワーク、画像計測技術、超伝導マグネットの保守管理における失敗談、土質に関する学生実験、演示実験における安全対策など幅広い分野の発表について活発な質疑が行われた。発表会に引き続いて行われた情報交換会では、リラックスしたムードの中で専門業務、学生実験、技術部組織運営等について大いに盛り上がった。



図1 技術交流会にて本学発表者（左から矢北、吉永、上田）

2.2 施設見学

2日目は先端加工総合実験棟、水素エネルギー国際研究センター、水素ステーション、超高圧電子顕微鏡室の施設見学をさせていただいた。通常では、なかなか見る事の出来ない施設をそれぞれの担当者より日頃の保守・管理、学生実習の規模や時間割などを交えてご説明いただいた。



先端加工実験棟



水素エネルギー国際研究センター



超高圧電顕室

図2 施設見学

3 まとめ

近年、ますます高度化する研究を支援するにあたっては、各自の専門技術のみならず、その周辺技術、時には全く未知の技術領域の知識や技術が必要になっている。そんな中で他大学の技術職員間の交流は非常に有意義であると考えられる。今後のこのような技術交流会を継続し、技術職員の専門技術研修や人的交流をより活発にして更なる研究支援力の向上に努めたい。

最後になりましたが、本技術交流会の開催にあたりご尽力頂きました九州大学工学系技術職員の皆様に深く感謝いたします。

(別紙プログラム)

九州大学-熊本大学 技術交流会

技術研究会、研修会を通じて交流を続けている熊本大学工学部より12名の技術職員の方が来学されます。工学系技術職員の業務を通じた教育研究支援などをテーマとし、技術交流会を下記のとおり開催します。

日時：平成28年2月29日～3月1日（2日間）

場所：九州大学 伊都キャンパス 総合学習プラザ 第10講義室

2月29日（月） 13：00～

1. 開会挨拶（工学府長）
2. 九州大学工学系における組織化の進捗
3. 技術発表交流会（発表・質疑応答 20分）

(1) 13：30～13：50

矢北 孝一（熊大） 熊本大学工学部技術部の改組案

(2) 13：50～14：10

今村 和孝（九大） 人の不幸は蜜の味～トラブル、失敗事例集～

(3) 14：10～14：30

吉永 徹（熊大） 物理探査を主としたフィールド調査の紹介

14：30～15：00

休憩

(4) 15：00～15：20

八尋 裕一（九大） カリキュラム変遷に伴う土質学生実験

(5) 15：20～15：40

上田 誠（熊大） 画像計測技術を援用したFEM解析メッシュ生成

(6) 15：40～16：00

増子 隆博（九大） 演示実験のリスク管理～実演で検証します～

3月1日(火) 10時～(集合場所 総合学習プラザ 第10講義室)

施設見学

先端加工総合実験棟 (EN50)



水素エネルギー国際研究センター (HY30)

水素ステーション (HY40)



超高圧電子顕微鏡室 (CE20)

